

Stage Up

ステージアップ VOL.197 2014年4月1日（隔月発行）



もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
～市長インタビュー～
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット

《かわさきの名所シリーズ①》

二ヶ領用水円筒分水 国登録有形文化財

誌 上 ギ ャ ラ リ ー

高津区久地にある円筒分水は、農業用水を公平に分配するための分量桶として、1941年に多摩川右岸農業水利改良事務所長であった平賀栄治の設計によって建造されました。円筒分水の歴史をさかのぼると、江戸時代に完成した二ヶ領用水の水を4本の堀（川崎掘り・根方堀・六ヶ村堀・久地二子堀）の灌漑面積に応じて分水された施設です。サイホンの原理で中心部にプールされた水は、円筒の外側の仕切りに流れ込み、正確な比率で分けられました。

《交通手段》●川崎市営バス、東急バス新平瀬橋バス停下車、徒歩1分 ●東急田園都市線、大井町線溝の口駅下車、徒歩14分 ●JR南武線武蔵溝ノ口駅下車、徒歩16分



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/> Eメール:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体



パパ塾 ～家のパパから地域のパパへ～



イクメン、カジダンという言葉が市民権を持つようになり、若いお父さんの育児参加が話題にのぼるようになりました。30年ほど前には日本各地で小学生をもつ父親たちが「おやじの会」という名前で会を発足させ、川崎市でも北部に5つの会が生まれました。現在も「川崎おやじ連」として熱心に活動を続けています。おやじと呼ばれるにはちょっと…という若いパパたちの会が活動を始めるようになったのはここ数年。共働きの夫婦が多くなり、保育園の送り迎えや、家事・育児に積極的にかかわるパパが増え、書店にも男性向けの育児本が並ぶようになりました。武蔵小杉で活動を始めて4年目のパパ塾取材しました。

パパ塾の始まり

2009年に中原市民館で行われた市民館主催の家庭・地域教育学級の講座が始まりでした。2010年からは市民自主学級として講座が生まれ、プログラム作りなどは前回受講した人たちが世話役になってすすめています。2013年度は「NEXTパパ塾 ～ママ公認。地域も認める、パパづくり～」と題し、座学と実践の講座でパパたちが奮闘しました。

初回の「パパにも聞かせたい！ママの本音トーク」では、育児情報誌「miku」編集長 高祖常子さんの講義とワークショップがありました。少々緊張している中「自己紹介を兼ねてママの良いところを教えてください」という講師の一言に、苦笑いの皆さん。それでも講義が進むにつれて、子育てや夫婦間の事、家族とはどうありたいのかなどのお話に真剣な表情で聞き入り、ワークショップでは活発に意見を交換していました。



パパ仲間との交流から

会を重ねるごとにパパたちの肩の力も抜け、会話も弾みます。子ども夢パークでの「アウトドアリーダー実践編」では、かまどづくり、火起こし、野外調理に挑戦し、12月には市民館でクリスマス料



理を習いました。家族との試食では、子どもたちの「おいしい！」の声に、ホッと胸をなでおろし、ママからは今後を期待するまなざしが注がれていました。



8月から半年の活動でパパ同士の会話が増え、表情も柔らかくなり、家族ぐるみの交流が深まってきていることがわかりました。

パパの本棚

中原市民館ふれあいカフェの一角に小さな本棚があります。中原図書館の除籍本を活用した「パパの本棚」です。パパ塾を受講した方が地域参加への第一歩としてスタートした活動で、市民館だけでなく、保育園の一角や小児科の待合室など少しのスペースに設置し、読み聞かせの会も行っています。

10月にオレンジリボン運動（児童虐待防止の広報・啓発活動）の支援団体としてパパ塾が認められ、パパの本棚に（一社）ソーシャル・アーティスト・ネットワークから「かーくん」という絵本が寄贈されました。このことを記念して、12月には絵本の読み聞かせの会を行いました。それが発展して読み聞かせだけでなく、オレンジリボン運動を考える機会として、また、地域のパパとしての役割を考える“気づきの会”としての時間にもなりました。



普段着の付き合いができるパパ友

武蔵小杉に多くの高層マンションができ、子育て世代で新たに住民となった人たちの中には、子育てのネットワークもわからず、不安を感じている人たちも少なくないことでしょう。パパ塾の誕生は必然だったかもしれません。「子どもは地域へのパスポート」という言葉があります。この会では、パパになったことで地域参加へのハードルが下がり、子どもを介して地域とつながるチャンスだと考えています。忙しいパパたちのために、活動やイベントの情報はブログで公開され、フェイスブックで通勤途中でも情報が入ります。パパにも気軽に話せる友だちは大切です。

パブリックなパパとして地域社会に貢献すること、そしてパパのネットワークづくりを広げていくことを目的にしながらも、地域の仲間とのつながりを大切にしているこの活動は、今後の地域の活性化につながっていくのだろうと思いました。

■問合せ 『川崎パパ塾』で検索

シニアのパレット

「ありがとう」が嬉しくて ～NPO法人 日本おもちゃ病院～

「何かしたいよね」そんなつぶやきから始まったおもちゃ病院の活動は、そのもとに健康生きがいがづくり教室の活動があります。仲間とともにセカンドライフを楽しんでいる中で、皆さんは「自分たちが孫世代にできることが何かないだろうか」と考えるようになったそうです。その思いを、NPO法人健康生きがいがづくり教室の方が受け止め、多方面に働きかけをし、5年前に『おもちゃ病院』の活動を始めました。活動の幅を広げるために2012年には、NPO法人日本おもちゃ病院としてスタートしました。

活動の拠点は高津市民館です。月に1回おもちゃドクター養成講座を開いて修理の仕方を学んでいます。「子どもの頃から機械いじりが好きだったよ」という方から、「機械には無縁だった」という方まで、受講生は様々です。皆さん講師の手元を真剣に覗き込みます。



おもちゃの修理は、一つ分解しては写真を撮り、釘1本はずすごとに確認し、細心の注意を払って行われます。

イベントに呼ばれておもちゃ病院を開院したり、動く手作りおもちゃの作り方を教えたりと、子どもたちとの接点も増えて楽しいそうです。「その子にとって大切な唯一無二のおもちゃを治すことで、物を大切にしたい」と皆さん熱心に取り組んでいます。

「おもちゃが動き出すと嬉しいけど、それよりにっこり笑った子どもの笑顔とありがとうの言葉がうれしくてね～」と、子どもたちに喜んでもらえることが何より嬉しいと言います。子どもとのふれあいの中に充実した時間を過ごしている皆さんでした。



■問合せ NPO法人日本おもちゃ病院
代表 丸岡 慎 TEL 090-3224-2817



無理なく、楽しく、和やかに ～ボランティア団体 とあの会～



「私にできることは何だろうか？」佐藤元子さんのこの自分への問いかけから“とあの会”の活動は始まりました。当時、“とどろき音楽サークル”や“コールかんらん”に所属していた佐藤さんは、仲間と楽しく歌うことだけではなく、「誰かの役に立ちたい」「喜んでほしい」と考えるようになったそうです。所属合唱団のメンバーに声をかけ、ボランティア団体とあの会を発足させたのが平成18年。活動を始めて8年が経ちました。

練習は基本月2回。下平間こども文化センターで行っています。メンバーのほとんどが他の合唱団などにも所属しているようで、練習も施設を訪問することも各自の都合に合わせて参加しています。

「無理なく、楽しく、和やかに」を合言葉に、練習を通して仲間づくりをし、聴いている方々を巻き込んで合唱を楽しみます。練習に伺うと、歌の合間に笑い声が聞こえるほど、皆さん常に笑顔です。



とあの会は年間30回以上施設を訪問しています。今回は、みかど荘へ同行し取材をさせていただきました。

公演は50分ほど。合唱、尺八とハーモニカ、漫談、ミュージックベル、フラダンスなど、多彩な演目に見ている方々も引き込まれます。曲目が童謡や皆さんが若かりし頃の曲なので、口ずさんだり、手拍子を取ったりして楽しんでいました。いつも最後に観客席に入ると、「待ってたよ」「また来てね」と声をかけられるようで、「嬉しいですね。自分たちも心が和むんですよ」と話していました。

『自分たちが今できることを楽しみながら、誰かの役に立つ』佐藤さんが描いた思いは形になって、広がってきていると思います。



■問合せ とあの会
代表 佐藤元子 TEL 044-522-4757

インタビュー 福田紀彦 市長

幸せになるための鍵

昨年11月に就任された福田紀彦市長の目指す川崎の姿には、市民の笑顔、市民の幸せがあります。「最幸のまち」になるためにどのような取り組みを考えているのか。市民が主役であるためには…。生涯学習の視点に立ってお話を伺ってきました。

・市長さんはどんなお子さんでしたか

姉が腕白で、私がおままごと大好きで…内向きなのを心配して母親がボーイスカウトに入れたんです。ボーイスカウトでは、台風が来ているときとか、厳しい境遇の時のキャンプを思い出しますね。自然の厳しさが厳しいほど思い出に残っているものです。川崎の子どもたちにも、こういう五感を使う自然体験を経験させてあげたいと思います。

先ほど北海道中標津の町長さんと川崎の子どもたちが、毎年貴重な体験をさせていただいている青少年地域間交流の意義を確認し合ったのですが「サマーキャンプで、子どもたちに自然と向きあった体験をさせることは素晴らしい」という話をしたんです。友好自治体など交流のある地域とのそういう結びつき方ってすごく素敵だなと思います。



子どもたちには五感で感じる体験を!

・昨年12月「子ども夢パーク10周年記念フェスタ」で子ども夢パークにいらしていかがでしたか
子どもたちがすごく元気で、本当に楽しそうでしたね。良い光景を見ることができました。

所長の西野さんがおっしゃった「けがと弁当は自分持ち」は、いい話だなと思いました。子どもたちが自分の行動に責任をもって、自由に発想したり、遊びや冒険をしたりすることはとても大事なことだと思います。こういう考えを広めたいですね。

・市長さんになられてから家庭でのお子さんとのかわりは変わられましたか

家にいる時間が減っているので、量より質を大切に、密に接するようにはしています。日頃ない分、子どもたちもいっぱい話したがるので、会話は大切にしています。

シニア世代の元気を地域に!

幸福度が上がるためには

・シニアの方々に自分自身も学びたいと思っていられる方が多いと思うのですが…

我が国では1955年くらいから、経済成長は右肩上がりで続いてきているのに、幸福度というものが上がりず横ばいが続いています。経済成長を優先して心を豊かにすることがおろそかになっている限り、たぶん幸福度というものは生まれてこないと思うのです。そういう意味で、心を豊かにする生涯学習というのとはにかく大事だと思っています。まさにこれからの時代は生涯学習だというくらい重要なものだと考えています。生涯学習の時間を重ねることによって心が豊かになり、幸福度を上げていくのだと思います。

先日、20周年を迎えたかわさき市民アカデミーでありさつした折に、いろいろな勉強されている皆さんにお会いして、そのたゆまない向学心に感心し、こういう人たちがもっと増えてほしいと思いました。学び続けたいという意欲がある人たちが、増えていけば増えていくほど川崎市は豊かな市になると思うんです。人間というのは食欲ですから、一回学んで面白いと思うと、また学びたくなる。そういう環境をつくっていく必要があると感じています。



地域の中の多世代のつながり

・青少年の体験活動と「地域の寺子屋」の関係は?

地域の中で多世代の縦のつながりは重要だと思っています。核家族化が進み近くにおじいさんおばあさんがいない。一方で、地域の方々とのかかわりを求めている子どもたちがたくさんいる。人工的になってしまっていますが、その接点を作っていれば縦の繋がりができると思います。今、横のつながりは比較的できているのですが、縦と横があって初めて地域の中でのふくらみというか、育てたり育てられたりしているという構図が出来上がっていくのではないかと考えています。そういう意味で地域の寺子屋はすごく重要だと思っています。

生きがいは自分のために、張り合いは人のために…

・有償ボランティアはボランティアの循環を推進する役割も担っているのでしょうか

一般的に言われる職業というものが終わった後も、地域の「仕事の名刺」を持ってもらいたいです。名刺があるということは、地域に居場所があり、人の役に立っていることだと思います。

生きがいは自分のためにやる、張り合いは人のためにやるという話を聞いて、本当にその通りだと思いました。特にシニア世代の人たちが、名刺を持ち、地域の中に存在感があり、責任を持って取組み、そして頼られる…とそういう仕組みをつくっていきたく思います。ボランティアをしていて、何か認められるものが欲しいというのも人間の一つの欲求だと思います。それが無形のありがたさではなく、若干有形なものであっても良いかと思っています。張り合いにつながるものにしたいと思っています。

有償ボランティアにすることで、人と人とのつながりだけでなく、お金の良い循環も生み出すことができるのではないかと考えています。

行政が一定の距離感でサポートしていこうと…

・生涯学習のイメージは…

人間生きている限り学び続ける、幸せになるための鍵みたいな普遍的なものだと思っています。人間が人間らしく豊かになるための、なくてはならないものだと思います。学校教育が終わったら学習が終わりではないのです。学びたい意欲はそれぞれ個人が持っている、その欲求を満たすために、個人や行政や生涯学習財団などがどのようなサポートをしていけるのか、ということがすごく重要だと思っています。行政が一定の距離感でサポートできるものをつくり出していこうと、決して後ろ向きではなく、ちょっと支えているというスタンスが行政には必要かと思っています

インターネット環境もインフラの一つ

・生涯学習財団でもホームページで川崎市の生涯学習情報を発信していますが、インターネット環境は今後整備していこうとお考えですか

今は、インターネット環境もインフラ（社会的基盤）の一つだと思います。Wi-Fi（無線ネットワーク）化は私たちの生活を一変させるツールの一つだと思っています。生活サービスだけでなく、生涯学習につながる、学びにも大きく関係することだと思います。非常に広がりのあるインフラなので積極的に使っていきたいと考えています。

短時間のインタビューの中で、市民が幸せになるためには何が大切なのかということをお話した市長。「地域の寺子屋」「有償ボランティア」等の発想が生まれた経緯や考え方などを話し、その考えをさらに研究し、市民が笑顔で暮らせるための仕組みづくりを考えていきたいと語っていました。「生涯学習は幸せになるための鍵…」「心豊かに暮らすためになくてはならないもの」という考えは「豊かな生涯学習社会の実現を図る」という当財団の目的と共通するものがあり、行政と連携しながら、市民の生涯学習をサポートする必要性を再確認するインタビューとなりました。(2014. 1. 14インタビュー)



生涯を通して学び続ける…



地域学を学びたい

・生涯学習に取り組むとしたら何をなさりたいですか

地域学がやりたいですね。自分は川崎のことを知っていると思っていましたが、知らないことがこんなに多いのかということに気が付きました。歴史が大事だと言っているが…ものすごく恥ずかしいのと残念なのと、かつ前向きに言えば、もっと川崎について勉強したいと思っています。市長というよりも一市民として、今の生活のルーツがどこから来ているのかを、ちゃんと学んでおきたいと思っています。夕方や夜遅い講座があれば参加したいなと思っています。ぐらいです。



施設めぐり

市内公的施設および当財団が運営管理する施設の紹介

大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝ノ口駅下車、徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車、徒歩5分 TEL 044-813-4705



すぐろくで大山街道を探検

～歴史をつなぐ 人をつなぐ大山街道ふるさと館～

当館は、平成26年度から公益財団法人川崎市生涯学習財団とNPO法人教育活動総合サポートセンターの共同事業体として、引き続き指定管理者を担うことになりました。これまでの展示活動、文化事業に地域活性化の視点を加えてより地域に根差した事業を企画し充実に努めます。

－2014年度の主な事業－

- 【博物館事業】－ ○常設展：大山街道の歴史・民俗・自然等の資料展示（通年）
○企画展：郷土史家の資料を基にした資料展、ミニふるさと発見展、地域が創出したカルチャー展
- 【歴史文化探究事業】－ ○歴史探究講座（年3回）○街道学習講座（3回）○ふるさと子ども出前授業（近隣小学校対象）○ふるさと発見講座（3回）○中学生のための郷土学習講座（8月）、○子ども大山街道探検クラブ
- 【地域活性化事業】－ ○ふるさと館まつり(2月) ○NPO法人大山街道活性化推進協議会との連携・協力
○大山街道サポーターズクラブの新設 ○みちまちラウンジ事業
- 【広報活動の充実】－ ○ふるさと館だよりの発行（年6回）○ホームページの充実

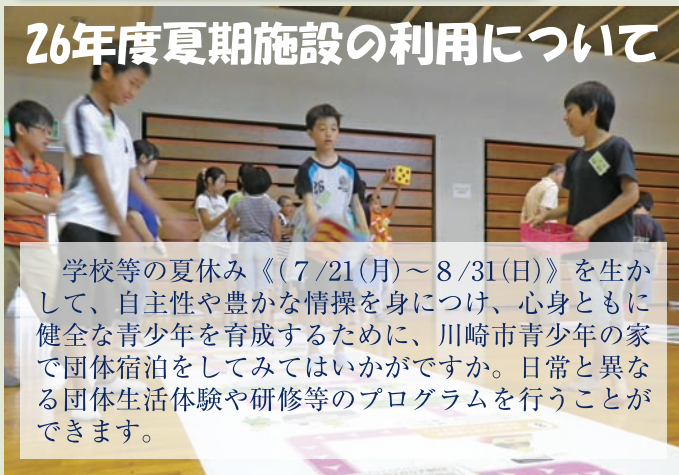


▲街道学習講座(街道歩き)

川崎市青少年の家

東急田園都市線宮崎台駅下車徒歩12分 TEL 044-888-3588

26年度夏期施設の利用について



学校等の夏休み《(7/21(月)～8/31(日))》を生かして、自主性や豊かな情操を身につけ、心身ともに健全な青少年を育成するために、川崎市青少年の家で団体宿泊をしてみたいか。日常と異なる団体生活体験や研修等のプログラムを行うことができます。

- 〈利用対象〉川崎市内の青少年団体・学校・教育委員会が認めた団体(指導者に引率され、具体的な利用計画があること)
- 〈利用内容〉団体宿泊利用
- 〈申込方法〉3月末頃に配布される『夏期利用仮申込書』に記入し、川崎市青少年の家に直接持参するか郵送する。
- 〈申込締切〉4月30日(水)17:00必着
- 〈留意事項〉
 - ①5月11日(日)10:00～12:30に日程調整会を行います。申込団体は必ず出席してください。
 - ②この期間の野外炊飯はできません。
 - ③プール利用期間は7月5日(土)～8月31日(日)
 - ④市外青少年団体と一般団体の宿泊利用は5月15日(木)9:00から受け付けます。
 - ⑤日帰り利用の申込:通常通り、利用日の19日前から3日間前までとなっています。

川崎市子ども夢パーク

JR南武線津田山駅下車徒歩5分 TEL 044-811-2001

子ども夢パークは、子どもが自由な発想で遊び、学び、つくり続ける居場所を目指し、自己肯定感を育む環境づくりに力を入れています。年間の利用者数は約9万人、累計約70万人（過去10年間）を超えています。



川崎市子ども夢パークは、2013年7月に開設10周年を迎えました。子どもが安心して、ありのままの自分でいられることを尊重し、自分の中から湧き出てくる「やってみよう」を大切にしています。また、遊びを制限するような禁止事項をできる限りつくりたくないことで、子どもたちが自分で決め、判断できるようにしています。できたときの達成感を通して自信と自立を育むとともに、安心して失敗できる環境づくりに力を注ぎ取り組んでいます。

《2014年度 主なイベント予定》

- ドリームシンフォニー（夢♪交響楽） 6/22(日)
野外コンサート
- 夢ぱまつり祝11周年 7/21(月・祝)
オープン記念イベント
- こどもゆめ横丁 11/3(月・祝)
子どもたちによる商店街
- 初夢！新春イベント 1/11(日)
もちつき・どんど焼き・書初め・昔遊び
- KUJIROCK 年3回
スタジオ利用者のロックフェスティバル

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等の案内

情報ポケット



2014年度 生涯学習財団 主な事業

(公財)川崎市生涯学習財団は市民の皆様の生涯学習の支援や高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに、学校やNPO法人、民間の方々との多様な連携によって事業を展開しています。



I. 生涯学習活動の機会と施設の提供

① かわさき市民アカデミー協働事業

平成5年に発足した市民大学の「かわさき市民アカデミー」は高度で専門的なプログラムを展開。近年、年間延べ約6000人超の市民が学ぶ。

② ふれあいサマーキャンプ

市内の小学5年生から中学2年生までの児童生徒が友好自治体と交流、豊かな自然や生活・文化にふれ、心身ともに健康な青少年の育成をめざして実施。平成2年度から平成25年度までに延べ約5100名が参加。

【平成26年度の交流実施予定自治体】



島根県益田市、和歌山県古座川町・太地町、長野県富士見町、岩手県花巻市、北海道中標津町

※ふれあいサマーキャンプで交流した和歌山県古座川町の児童が川崎市を訪れ、交流する予定。

③ キッズセミナー・子ども陶芸教室

小学校3年生から6年生までを対象に、夏休みに「おもしろ科学」や「わくわく造形教室」「陶芸」等、楽しく充実した学習活動を提供。



④ 青少年創作教室

陶芸、絵画（油絵）等の美術・工芸を中心とした創作活動を生田中学校特別創作活動センターで実施。

⑤ 施設の提供

生涯学習プラザ施設（フィットネスルーム、会議室等）を学習会やミーティング、軽いスポーツの会場として提供。

II. 生涯学習に関する活動を支援

シニア世代の市民を対象に、学習成果を地域社会づくりや学校支援に生かすことを目的に実施。

① 生涯学習ボランティアの養成・派遣

生涯学習ボランティアとして「小学校パソコンボランティア」「特別支援教育ボランティア」等の養成講座を開設し、修了者を学校に派遣。

② 地域協働講座の実施

「NPO法人かわさき市民アカデミー」と協働で、大学等地域関係機関、地域団体・企業等と連携し、シニア活動を支援する地域に密着した講座を開設。

③ シニア活動シンポジウムの開催

III. 生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究

ホームページ「かわさきの生涯学習情報」を発信するとともに市内の公共施設とのリンクを拡げ、全市的な生涯学習情報の発信を目指している。

- ◇生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行
年6回（偶数月の隔月発行）各10,000部
- ◇「かわさきの生涯学習情報（KSJ）」の発行
年8回 各5,000部
- ◇メールマガジンの配信 月1回

IV. 生涯学習に関する多彩な体験講座

① スポーツ教室



スポーツを通して健康な心と身体づくり。
（保育付教室もあります）
エアロビクス・ヨガ・
気功太極拳・親子リトミック・
ピラティス等

② 文化教室

趣味や生活技術等を学ぶ。
写真・アロマ・フラワーアレンジ等
陶芸教室、陶芸室の一般開放、初めての陶芸教室等

③ 陶芸教室

その他の事業

① パソコン教室

（NPO法人と共催）



② ランチタイムロビーコンサート

月1回程度、昼休みの時間生涯学習プラザのロビーでミニコンサートを開催

あ と が き ■桜咲く新年度の子どもたちを見ていると、学ぼうとする意欲が伝わってくる。■自分もそれに刺激されてか、歳を重ねても学ぶ意欲や物事に対する好奇心は、失いたくはないものだと思う。■さて、特集記事で市長が、「生涯学習の時間を重ねることによって心が豊かになり、幸福度を上げていくのだと思います」と話されたことが、心に深く残っている。■学習は、自分自身の幸せのために。それが、社会全体の幸せに繋がっていくのだろうか。■今後も、生涯学習をライフサイクルの一つにして取り組まれている人々を小誌で一人でも多く紹介することで、本市における生涯学習の裾野の拡大に繋がればと思っている。

pokka Sapporo

カラダに、
レモンの元気を。



キレイと元気
キレートレモン

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
http://www.pokkasapporo-fb.jp/kire-to/

川崎市生涯学習プラザ

施設等使用料金改定について

2014年4月1日から消費税率が5%から8%に上げられることに伴い、施設使用料は、下記のとおり改定します。尚、設備・備品使用料につきましては、ホームページをご覧ください。2014年5月1日以降に施設及び設備・備品をご使用されるお客様より、新料金の適用になります。※消費税率が10%になったときは再度改定の予定です。

新：施設使用料(税込)

室名	定員等	使用料金						
		午前		午後		夜間	全日	
		9:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	9:00~21:00			
401	大会議室	144人	¥6,170	¥7,200	¥8,220	¥21,590		
301	会議室	72人	¥3,080	¥4,110	¥5,140	¥12,330		
201	会議室	72人	¥3,080	¥4,110	¥5,140	¥12,330		
202	会議室	32人	¥2,570	¥3,600	¥4,620	¥10,790		
101	活動室	36.2㎡/16人	¥1,540	¥2,050	¥2,570	¥6,160		
303	パソコン研修室	16人	¥5,140	¥6,170	¥7,200	¥18,510		
室名	定員等	9:00~11:00	11:00~13:00	13:00~15:00	15:00~17:00	17:00~19:00	19:00~21:00	全日 9:00~21:00
402	フィットネスルーム	1コマ(2時間)¥3,080/延長(1時間)¥1,230					¥15,400	
302	多目的ルーム	1コマ(2時間)¥2,570/延長(1時間)¥1,020					¥12,850	
203	活動室	1コマ(2時間)¥2,570/延長(1時間)¥1,020					¥12,850	

- 土曜日・日曜日・祝日は2割増となります。
- 営利を目的として施設を利用する場合は割増となります。(詳しくは、お問い合わせ下さい)
- 303パソコン研修室は、パソコン専用室です。事前に団体登録が必要です。(4月からウィンドウズ8.1対応のPC11台にリニューアルします)
- 402フィットネスルームの料金は2015年4月1日から2時間3600円に改定する予定です。
- キャンセルについて
キャンセルは、電話・メールではできません。使用承諾書を持参の上、受付にて「使用中止届」をご記入下さい。キャンセル料は、使用当日を除く1週間前まで無料。その後使用当日まで全額お支払いいただきます。